

議員定数に関する調査特別委員会記録

令和6年5月23日（木）午後0時58分～午後1時10分（9階909会議室）

○出席委員（11名）

委員長	半沢 正典
副委員長	斎藤 正臣
委員	高木 直人
委員	浦野洋太郎
委員	佐藤 勢
委員	山田 裕
委員	遠藤 幸一
委員	根本 雅昭
委員	川又 康彦
委員	羽田 房男
委員	黒沢 仁

○欠席委員（なし）

○議会事務局出席者

議会事務局長	佐藤 光憲
議会事務局次長兼総務課長	山田 正明
総務課庶務係長	神野由希子
議事調査課長	加藤 淳
議事調査課課長補佐兼議事係長	梅津 司
議事調査課主査	佐藤 祐介
議事調査課主査	本田 雅大

○案 件

- 1 追加資料について
- 2 参考人招致について

午後0時58分 開 議

(半沢正典委員長) 定刻より若干早いのですが、これより議員定数に関する調査特別委員会を開会いたします。

議事に入る前に、当委員会におきましてもほかの委員会同様、地球温暖化など環境対策の一環として、今回の委員会から10月末までの期間は、ネクタイ、上着の着用は自由といたします。

それでは、議事に入ります。

今回の議事については、お手元の資料のとおりであります。記載のとおり進めてまいります。

1、追加資料についてであります。

配付資料をご覧ください。

(議事調査課主査 佐藤) それでは、追加資料2つございます。資料①と②がございます。順を追ってご説明させていただきたいと思います。

初めに、資料①をお開きいただければと思います。こちら全国市議会議長会の資料でございます。市議会議員定数に関する調査結果ということでございます。前々回、2月の委員会におきまして、令和4年12月31日現在の資料につきましてお示しさせていただきました。今般最新版ということで令和5年12月31日現在の資料が来ましたので、こちらにつきましてご説明をさせていただきたいと思います。

資料おめくりいただきまして、下にページ番号が書いてございます。ページ下のページ番号で資料の3ページをお開きいただければと思います。一番上に2番、全国815市の市議会議員の定数の状況と書いてございます。(1)、市議会議員定数の状況というところでございます。2行目でございますけれども、前年対比で議員定数は124減したということで記載がございます。考えられる要因といたしましては、昨年は統一地方選の年でございます。選挙にあたりまして全国815の自治体の中で定数の減があったというところで推測がされるところでございます。

4ページ以降につきましては、この815市の定数の状況ということで記載がございます。こちらにつきましては、説明を割愛させていただきたいと思います。後ほどご覧いただければと思います。

資料お戻りいただきまして、資料②の1をお開きいただければと思います。資料②の1、人口順と書いてございます。人口類似市の議員定数等一覧でございます。今ほどの資料①の資料を基に作成したものでございます。前々回、2月の委員会におきましてこちら令和4年12月31日現在というところでお示しさせていただいてございましたけれども、先ほどの令和5年12月31日現在の資料を基に最新版ということで作成したものでございます。人口は25万人から30万人の自治体となつてございます。概要で申し上げますと、前回下関市が入つてございましたけれども、下関市が25万人の人口を切りまして、この表から抜けました。代わりに秋田市が人口30万人を切りまして、25万人から30万人の表の中に入ってきたというところでございまして、この人口の規模の中の数、1番から20番、20自治体というところは変わりがございません。その他、各自治体、人口の増減の幅など違うところがございま

すので、この表の中でも多少順位の変更等々ございますけれども、福島市で申し上げますと、前回の表では13番目に位置してございましたけれども、こちらが11番目に移動した、人口が少ないほうに移動したというところでございます。要因といたしましては、青森市より人口が多かったところでございますけれども、市原市、水戸市、12番、13番目でございますけれども、より人口が少なくなったというところで、結果として11番目というところになったというところでございます。その他、人口のほか一般会計の予算額、また財政力指数の欄につきましても最新の情報に修正をさせていただいてございます。

資料お戻りいただきまして、資料の②の2、3、4がでございます。こちらにつきましては、今ほどの表につきまして面積順、財政力指数順、議員定数順に並び替えたものでございますので、後ほどご参照いただければと思います。

資料①、②の説明につきましては以上でございます。

（半沢正典委員長） 今ほど事務局より資料の説明がございましたが、この資料につきましては既に前回までの委員会にて提示したものでありますが、令和5年の12月末に市議会議長会から最新の資料が提示されたことから、改めて最新の情報ということで皆さんに提示するものであります。

ただいまの資料について何か質問がありましたら、挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（半沢正典委員長） 特にないようですが、改めてですけれども、今回提示させていただいた最新の資料のほかに必要な資料等がありましたらここでまた伺いたいと思いますが、いかがなものでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（半沢正典委員長） それでは、議会基本条例にのっとりまして、一通り数値のほうはこのような形で提示をさせていただきました。

2の参考人招致についてに移ります。

配付資料の資料3、参考人招致実施要領案をご覧ください。ご覧いただいているとおりであります。日時のほうは令和6年7月23日火曜日13時30分から15時終了予定であります。

場所につきましては、本会議室という形です。

目的につきましては、本市議会議員定数の在り方についての調査について学識経験者から客観的な意見を伺うということで、参考人の依頼先及び聴取する意見の内容についてであります。出席依頼者につきましては、東北大学大学院情報科学研究科准教授の河村和徳氏、聴取する意見の内容につきましては、人口減少社会における議員の役割と定数の在り方について、②、福島市議会基本条例に定める各観点からの定数の在り方についてであります。

当日の進め方についても記載のとおりであります。参考人の意見開陳を45分、質疑応答を45分、その後委員のみの意見開陳まで考えておりますが、以上のような内容にて進行してよろしいか皆様のほうにご確認いたします。いかがなものでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) では、山田委員からも希望がありましたことから、河村先生に交渉いたしましたところ、快くお引き受けいただいたというような状況であります。

そうしまして、異議なしという形で、参考人招致については内容について確定をいたしました。

次に、皆さんにちょっとお話ししたいのですが、プレスリリースを行うかどうかについてであります。正副委員長としましては、この前の議会報告会でも市民に向けて定数に関する調査特別委員会の報告をしたこともありますし、市民の関心事でもありますから、広く市民に伝えるというような観点からもプレスリリースを行ってはどうかというふうに考えているところではありますが、委員の皆様のご意見をお伺いいたします。

(川又康彦委員) プレスリリースについては、やりますというプレスリリース、やりましたという。

(半沢正典委員長) 当日の委員会の開催の案内通知をプレス向けにするというような内容です。

(川又康彦委員) 傍聴者がそれによって増えるとか、そういったことも期待してという感じで考えていいのですか。

(半沢正典委員長) 多分広報というよりは、当日こちらのほうで委員会に傍聴というか、記者という立場で傍聴に来ていただいて、内容について報道をしていただくというような形を想定しています。

ほかにはございませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) 異議がなければ、7月23日の委員会の開催、参考人招致について実施するという旨をプレスリリースさせていただきますので、ご了承ください。

それでは、その他で何か皆さんのほうから、本日用意した協議事項、議題については以上であります。皆さんのほうから何かなければ。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(半沢正典委員長) それでは、これをもちまして議員定数に関する調査特別委員会を終了いたします。ひとまずご苦労さまでした。

午後1時10分 散 会

議員定数に関する調査特別委員長 半 沢 正 典